

セッション7

会話術 パート2

プロジェクト パート2

会話をする集まりを導く

会話に関するプロジェクトの概要

この課題は、あなたの友人を人生の変革をもたらす会話へと導き、関係を深め、福音を受け入れるのにふさわしい枠組みを築くことを助けるためのものです。

「会話術 パート1 & 2」に関連する2つの課題は、学び手がまるで生まれつきその才能を持っていたかのようになるまで身につけることを願う、2つの種類の会話の仕方について取り組みます。最初の課題では、「会話のきっかけとなるものを見出し、用いる」ことから始めました。今回は「会話をする集まりを導く」ことについて見ていきます。

目指すべき目標: 人々から、会話をするのと、会話を導くのが得意だとの評判を得ること

会話をする集まりを導く

「会話をする集まり」とは、あらかじめ計画した会話を実践することで、きちんとした形でも、あるいは自然な仕方でも行うことができます。しばしば家でなされたり、街中でなされるイベントを用いたりすることもあります。今回は自然発生的なものではなく、会話のきっかけをあらかじめ考えておきます。例えば、家で有意義な映画を観たり、コンサートの後にカフェに行ったりすることなどを計画します。

目的: この課題は、学び手がもてなしと会話を習慣化することを助けるものです。

目標: 友人と福音についての会話をするための計画を立て、会話をする集まりを導きます。

説明: 以下の質問を用いて、会話をする集まりを計画しましょう。

1 どのような集まりにするか？

- ・少人数の集まりにするか、大きなイベントにするか
- ・家で集まるか、レストランなど別の場所を用いるか
- ・定期的な集まりをこの課題のために用いるか。もしそうなら、もてなしの部分をどのように含めるか
- ・友人とともにこの集まりを主催するか。自分だけで準備するか

2 会話のきっかけとして何を用いるか？何らかの話題、映画、展示会、その他にどのようなものがあるか？あるいは挑発的な発言をするか？

- ・会話のきっかけが福音の真理とどのように関連するか
- ・イエス様なら、その話題をどのようにこの世では理解できない仕方で説明されるか
- ・どのように会話に移行するか。だれが会話の計画を立てるか

3 だれを招くか

4 具体的なスケジュールを決める。次回のミーティングのとき、その集まりがどのようにいったかを分かち合うことを心に留めておく

会話をする集まり、会話のきっかけの例:

- ・有意義な映画を観てから会話する(これを毎月することを考える)
- ・今起きていることについて会話する(友人と食事をするとき、いつもそうするように心がける)
- ・詩を読む - 詩を紹介し読んでから、会話する
- ・芸術家、音楽家、著者について会話する
- ・あるチャレンジをすることをもとに、ゲームをする
- ・個人的なこと、市民グループ、仕事、サークルに関して会話する
- ・ある専門家(ビジネス、家族など)について会話する
- ・ある本について会話するサークルを作る(あらかじめ全員に読んできてもらうのではなく、あなたがこれまでに読んだ物議をかもすような本を紹介し、会話する)
- ・あるテクノロジーについて会話する(テクノロジーのマイナス面について述べている多くの良い本がある)
- ・街中で行われるイベント、エンターテインメント、芸術などを用いる